

令和6年(2024年) 1月 15日

第170号

日歯連盟広報

Pick Up!

新春鼎談



小淵優子 自民党選挙対策委員長
太田謙司 日本歯科医師連盟会長
高橋英登 (総)日本歯科医師会会長

編集・発行人 近藤晴彦
年6回発行(奇数月の15日)
定価:1部105円・年間630円(税・送料共)
購読料は日歯連盟会費に含む

発行:日本歯科医師連盟 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20
TEL: 03-3262-8644 FAX: 03-3263-0345 E-mail: jdpcf@jdpcf.jp

日歯連盟ホームページ <https://www.jdpcf.jp/>



令和6年 年頭所感 日本歯科医師連盟 会長 太田 謙司 歯科界の明るい未来のために行動を起こす年に

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、2024年の新春を新たな気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また日頃より、日本歯科医師連盟の会務運営にご理解とご協力ならびにご支援を賜り心より感謝申し上げます。

高橋前会長の後を引き継ぎ会長に就任してから半年が経過しましたが、昨年は歯科界にとって前進と言える成果を得た一年となりました。

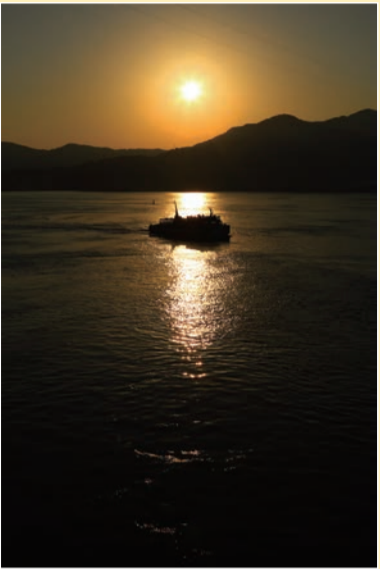
国の施策の基本方針である「骨太の方針」における歯科に関する文言では、2017年に初めて記載されて以来年々充実され、歯科の重要性に対する国の認識が高まっていると言えます。2023年においては、その前年に入った「生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)」については、「具体的な検討」から「取組の推進」と一歩進んだ表現になり、「国民皆歯科健診」は今や国の既定路線になっています。

コロナが5類に移行し社会活動もほぼ平常に戻ってきたなか、今度は世界情勢に由来する物価の高騰と賃上げ圧力が歯科界でも問題になっていきます。これに対しても、日歯と連携し政府与党に強く働きかけ、地域歯科医師会・連盟のお力を借りながら地方創生臨時交付金を活用し各地で物価高騰に対する支援金等を実現することができました。ただ、地域によっては未だ交付されていない所もあり、金額にもばらつきが見られることから、引き続き要望してまいります。

また、現在議論が佳境を迎えている診療報酬改定は医療介護福祉のトリプル改定となりますが、「いわゆる紙出し」や「実地



令和6年(2024年) 謹賀新年



「かけはし」瀬戸内海を渡るフェリーの夜明け

(撮影:松本憲明 大阪府歯科医師連盟理事)

指導の15分以上)等の、歯科が特を受けている制約の緩和を求めると同時に、「骨太の方針」に「物価高騰・賃金上昇、経営の状況、人材確保の必要性を踏まえ、必要な対応を行う」と明記されていることも根拠としながら、中医師会と連携し国に対して最後まで働きかけを行ってまいります。

さて本年は、歯科界に横たわる中長期的な課題に対しても行動を起こしたいと考えています。一つは、歯科医師の活躍の場の拡充です。中央では厚労省において歯科医師の審議官を育てることを、地方においては全ての都道府県・市町村の行政に歯科医師を配置することを目指します。また、医科では労働安全衛生法により様々な健診ができることになっていきますが、歯科にはそれがありません。産業界と産業界歯科医は名前が似ていても権限は全く異なります。これらについても是正したいと思っています。

もう一つは、歯科医師数11万人、日歯会員6万4千人、日歯連盟会員5万人の間にある差を埋めることと共に、優秀な若者が目指したいと思える歯科医師像を築いていきたいと考えています。歯科医師法の第一条に、「歯科医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し」と書かれているように、本来歯科医師は公衆衛生にも従事すべきで、そのためには歯科医師会に入会しなければなりません。歯科医師会や歯科医師連盟に入会していないことが恥ずかしいと感じるような時代にしていききたいと思っています。

これらの具現化には法律の改正が必要なものもあるなど、高いハードルがあり一朝一夕に成し得るものではありませんが、10年後、20年後に振り返った時、本年がターニングポイントであったと思えるように、将来に向けて種をまいていく所存です。

さらに、20年前の残念な出来事により歯科界では日歯と日歯連盟のトップは別人が務め、中医師会も一名になっていきます。現在、月に一度、日歯と日歯連盟の合同会議を開催し緊密に連携を取っていますが、日本医師会や日本薬剤師会のように、日歯と日歯連盟の会長の兼任についての検討を進めていきたいと考えております。中医師会についても本来の姿である二名に戻すべく尽力してまいります。

このような歯科界に山積する課題に向かう時、政治的アプローチが必要であることに疑いの余地はなく、昨年末の評議員会において第27回参議院比例代表選挙の組織代表候補者に決定した比嘉奈津美参議院議員の政策も慎重に吟味しなければなりません。そのため、本年も山田宏参議院議員と共に全国各地でデンタルミーティングを開催したいと考えております。我々執行部も歯科界の発展のため全力で努めてまいりますので皆様のご理解と協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が会員の皆様やご家族にとって幸多く、そして歯科界にとって実り多い年であることを祈念し年頭のご挨拶といたします。



足元を固め、明日を拓く年に 参議院議員 山田 宏

明けましておめでとうございます。昨年も日本歯科医師連盟の先生方には力強いご支援を賜り誠にありがとうございました。今年も「歯科の明日を拓くことが、健康長寿の日本を創る」との信念で頑張りますので引き続きご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

今年も民間ではさらなる賃上げや物価高が予想されています。6月からそれらに対応して診療報酬が改定されますが、歯科は他の医療分野に比べて材料費の占める割合が高く、また看護師や介護士などの人件費が引き上げられているのに対し、歯科衛生士等歯科界の人材確保のための改善はまだ未だであり、今後もしっかり対応していく決意です。

「国民皆歯科健診」推進事業では、昨年に引き続き簡易な検査方法の開発を進め、その検査結果を確実に治療につなげる制度設計も合わせて検討してまいります。そして来年からはその新しい検査方法による歯科健診のモデル事業を職

場、地域、施設等の一部で開始し、暫時モデル事業を拡大しつつ、一方で口腔の健康が全身の健康や医療費に与える影響等に関するナショナルデータも研究・蓄積し、その結果を本格的な「国民皆歯科健診」実現に向けた労働安全衛生法等関連法令の改正に繋げていきたいと思っています。

また、一部野党の理解が得られず暗礁に乗り上げていた国民皆歯科健診に向けての「歯科口腔保健推進法」の改正についても、今年度の成立を期してまいります。

昨年11月の厚生労働委員会では質問に立ち、武見厚労大臣に今年のマイナ保険証への移行と従来の保険証廃止の方針に対し、岡山県歯科医師会でのアンケート調査をもとに現場の不安と危惧を強く訴え、大臣からは「令和6年の秋以降も一年間は紙の保険証を併用していく」との方針を引き出すことができました。

本年も日本歯科医師連盟と皆さまの協力を心からご祈念申し上げます。

新年のごあいさつ 参議院議員 比嘉奈津美

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日本歯科医師連盟の会員の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

すでに報道等でお聞き及びのことと存じます。この度、第150回臨時評議員会におきまして、正式に次期日本歯科医師連盟参議院比例代表選挙候補者として選出をいただきました。この決定を重く受け止め、歯科界のため一層の努力をさせていただきます。

さて、歯科医療の重要性に理解が進む一方で、物価高騰や歯科衛生士、歯科技工士不足など、歯科を取り巻く厳しい状況が続いております。そこで多くの国会議員と連携し、自民党内で開催される部会内での問題提起、私が事務局長を務めております「国民歯科問題議員連盟」の所属議員とともに、財務大臣、厚生労働大臣へ直接申入れを行うなど、歯科医療向上のため日々奮闘しております。

口腔の健康と全身の健康の関連性が明確とな



広報委員 松館 邦彦

広報委員会は会員の先生方に分かりやすく情報提供するために日歯連盟広報やホームページ、メルマガ、SNSなどの媒体を用いて発信しています。組織代表選挙の際はお声かけ・電話・ハガキはもちろん、ここ数年前からSNS等が有効な手段として力を入れてまいりました。ぜひ登録して有効活用していただきたいです。そして「生涯を通じた歯科健診」が実現すると歯科医師の確保が重要になり、また今でも不足している歯科衛生士、歯科技工士の育成は長期に渡って努力しなければなりません。不足しているから増やせと言われても簡単に増やせるものではありません。東京都歯科医師会の令和4年度の歯科医療経営総合調査報告によると、8割を占める個人立歯科診療所の歯科衛生士雇用状況は常勤歯科衛生士0名が53.6%、非常勤歯科衛生士0名が74%と歯科衛生士不足が如実に現れてます。またCAD/CAM冠が導入されクロウズアップされている歯科技工士も不在の診療所が88.4%と、技工士不足も喫緊の大きな課題です。現代の歯科治療は歯科医師一人ではとても満足いく診療は困難で、歯科衛生士・歯科技工士のコンビネーションが揃って初めて効率よく組織として稼働できます。国にも言う歯科医師会・歯科医師連盟を謳っている以上、コンビネーションの不足はリーダーシップをとって早急に取り組まなければならぬ課題です。



小淵 何となく歯医者さんに対する苦手意識が、

国民皆歯科健診について

代表的なものは糖尿病で、歯周病は第6の合併症として相互に影響し合っています。人工透析されている人の4.2%が糖尿病で、ここに1兆6000億円の医療費がかかっています。口腔健康管理を通して、より健康になれば、使わなくてもよい医療費を抑えられる可能性も出てきます。そして、これをもっと必要な疾病に充てることができます。口の健康管理は、全身の健康を育む第一歩です。



皆様な方からずあるのでは。昔の歯科医を知る世代は、口は正直怖いのでしょね。太田 例えは命に關わるような検診にしてもなかなか受診率が上がらない。そうなるので、歯科健診をどこまで受診していただけるか。これもPRのやり方だと思えます。小淵 そうです。小中学生の時は、歯科健診はありましたね。高橋 歯科健診は高校生までで、その先はあります。太田 その「骨太の方針2023」にも載せていたました「生涯にわたる歯科健診」いわゆる「国民皆歯科健診」ですが、初めは言葉ばかり先に走って様々なことが話題になりました。そしてこの健診ですが、医科に比べて歯科は法律で規定される健診の機会がかなり抜けています。特に働いている世代では、医科は会社で健診を受けるよう定められていますが、その項目に歯科が入っていません。ですから山田宏先生を中心に法律を作って、あるいは条例を整えて、国民に生涯を通じて歯科健診を受けていただけるシステム作りをすることが、国民皆歯科健診の意義だと思います。

高橋 国民皆歯科健診が定着すれば歯科健診の歯科治療の需要は確実に高まります。太田 そのように、歯科医療の需要が高まる半面、歯科医師の高齢化による今後の歯科医師数の減少も歯科界の大きな問題です。小さな町で1軒しかない歯科医院が、高齢の為に閉院すると、住民に大変な迷惑をかけることになりま



高橋 今後は、歯科医療が国民の健康に資するための活動をさらに進めていくことをお誓い申し上げます。小淵 私も歯科医療が日本の未来を明るくしていただくことを願っています。太田 小淵先生、高橋会長、本日は貴重なお話を伺うことができました。誠にありがとうございました。(令和5年11月17日 自民党本部にて取材)

歯科医師連盟の役割について

高橋 このように歯科界が直面している様々な問題に対応するのは、日歯だけでは到底無理です。日本の医療は国が決めている国策ですから、連盟活動無くしては成り立ちません。連盟が機能しなくなると、歯科界は本当に悲惨な状況に陥ります。日歯と連盟が一緒に国民の為に頑張らなくてはなりません。太田 歯科界という飛行機を日歯が操縦してその方向性を、連盟はそのエンジンとしてその推進力を、両者が一体となり、国民のための歯科医療をより良くするために進めてまいりたいと思っています。

医科歯科連携について

太田 また、超高齢社会の現代では、診療所に来る患者さんの多くは高齢者で、基礎疾患があり、薬もたくさん服用している方が多くいます。ですから、抜歯をしようとした時など、服用している薬によっては、かかりつけ医に事前に相談をしなければなりません。緊急を要する場合など、なかなかスムーズな連携が取れない場合が少なくなく、患者さんに迷惑をかけてしまいます。このような点についても、医科、薬科の三師会でも連携が取れるようなシステム作りに対して、我々の努力とともに国の方から支援を賜りたいと思います。



組織代表となると、選挙区が全国ですから本当に大変だと思います。47都道府県を回るだけでも相当な時間と労力を要することかと思えます。ただ、選挙は近道がないものでも、現場に足を運んでいただいても一人ひとり会って、候補者のお人柄も含め何をやりたいかを伝え、まさに自分達の代表であるという責任感、現場の皆さんに実感していただくと、大変な思いです。太田 ありがとうございます。ご助言の通り全国への周知に努めます。

歯科医院の経営について

高橋 今、会員の平均年齢は62歳で、さらに団塊の世代の歯科医師が引退すると、歯科医師不足が急速に進むことが心配されています。小淵 一時期、歯医者さんはすごく多いと言われた時期がありました。太田 国家試験が非常に厳しくなると、数の上で選抜するという形になってから、医師、薬剤師が8割、9割合格されるのに対して、歯科医師は毎年6割前後の合格率で、新たに誕生する歯科医師数は毎年約2000人です。そのような傾向から、去年のデータでは、高校3年生が、医学部から法学部、理学部、全ての学部を含めた中で、最も志望が少なかったのが歯学部というデータが、私学振興財団から出ました。この問題の一番の原因は、現在の国家試験制度です。資格試験を免除した定員制の試験制度では、歯科大学に入学しても将来歯科医師になることが困難となると、歯科医師を目指す者が減少してしまっており、現在は歯科大学入学者が定員割れを起こしている大学も多数あります。

話が変わりますが、我々は国民に優良な歯科医療を提供するため、日歯は国民に向けての公衆衛生を推進し、連盟は安定した医院経営を持続目標に、それぞれ権限を分けて、特に自民党の先生方にご理解いただく活動をしておりま

高橋会長(以下高橋) コロナの当初は歯科医院が非常に危ないと言われ、多くの患者さんの受診控えがおこりました。しかし、我々は以前より、感染症への対応は日常的に行っており、そのため、新型コロナに対しても、約6万4千の日歯会員の診療所からはマスクもほぼ出さなかったということが次第に周知され始め、徐々に患者さんも戻ってきました。小淵 歯科医師の先生方の大変なご努力で、患者さんが来院する頻度も随分変わったのだと思います。そしてコロナが5類に変更されたら今度は物価高騰、人材高騰と、さらにご苦労が



なところになってはならないと強く思います。小淵 3年半続いたコロナ禍で、歯科医師の先生方は、消毒一つから始まっていろいろな機材をそろえていただいたり、本当にご苦労が多かったと思います。またワクチン接種に関しても、大変な協力をいただきました。高橋会長(以下高橋) コロナの当初は歯科医院が非常に危ないと言われ、多くの患者さんの受診控えがおこりました。しかし、我々は以前より、感染症への対応は日常的に行っており、そのため、新型コロナに対しても、約6万4千の日歯会員の診療所からはマスクもほぼ出さなかったということが次第に周知され始め、徐々に患者さんも戻ってきました。小淵 歯科医師の先生方の大変なご努力で、患者さんが来院する頻度も随分変わったのだと思います。そしてコロナが5類に変更されたら今度は物価高騰、人材高騰と、さらにご苦労が

医歯薬出版 ● 出版案内
月刊「歯学展望」別冊
月刊「デンタルハイジーン」別冊
ちょっと深掘り! 予防の科学
資料のとり方・活かし方

歯学生のための健康科学 第3版
監修 小松崎明 / 藤井一雄 / 浅沼直樹 / 大島克郎 / 永田英樹
執筆 浅沼直樹 / 井口(秋山)麻美 / 池田聖子 / 蓮上司 / 大島 克郎 / 小野幸絵 / 鴨田剛司 / 小松崎明 / 白野美和 / 高塩智子 / 田中 彰 / 田中聖至 / 田中とも子 / 永田英樹 / 二宮一智 / 元井志保
歯科衛生士学生・歯科技工士学生にもおすすめ!

第27回参議院比例代表選挙 日本歯科医師連盟 組織代表候補者

比嘉奈津美氏 に決定!!



参議院比例代表選挙候補者
選考委員会において、9月21
日、10月27日、11月10日と3回
にわたり協議を重ね、11月10
日付けで太田日歯連盟会長に、
沖縄県歯科医師連盟推薦の比
嘉奈津美氏を候補者として推
薦する旨の答申書を提出。こ
れを受け本執行部は11月10日
開催の第6回理事会において
比嘉奈津美氏を令和7年7月
に実施が予定される第27回参
議院議員通常選挙(比例代表)
における本連盟推薦候補とす
ることを決定し、令和5年12月
7日開催の第150回臨時評
議員会に議案として上程。原
案通りに可決決定された。

日歯連盟広報170号特別付録

診療室に貼って
ご利用ください!

磨く門には 福来る



歯科健診を受けましょう
日本歯科医師連盟

国民歯科問題議員連盟が総会を開催



令和5年11月9日(木)17時、参議院議員会館において自
民党の標記議員連盟(会長・関口昌一参議院議員、事務局長・
比嘉奈津美参議院議員)総会が開催された。会には、歯科医療
について理解が深い衆参国會議員160名(代理含む)と厚生
労働省をはじめとする関係省庁、および日歯から高橋会長ほ
か役員3名・日歯連盟から太
田会長ほか役員8名が出席し
た。
比嘉事務局長による司会進
行の下、日歯および日歯連盟
が令和6年度歯科関係税制
予算案ならびに診療報酬改定
に関する諸課題を提示し、議
員/行政/医療側の三者間で
幅広い協議が行われた。加え
て太田会長は、歯科に関する
医療経済実態調査について今
後の具体的な対応を政府側に
求めた。

総会発言者一覧(発言順)

※敬称略

議員	衆・参(選挙区)	発言内容
松島みどり	衆(東京14)	価格転嫁について
中村 裕之	衆(北海道4)	人件費アップについて
鷲尾英一郎	衆(比例北陸信越)	国民皆歯科健診の推進について
長坂 康正	衆(愛知9)	公定価格について
小島 敏文	衆(比例中国)	設備投資支援について
今枝宗一郎	衆(愛知14)	診療報酬改定について、金パラに替わる新材料について
藤井 一博	参(比例)	物価、賃金上昇について
谷川 とむ	衆(比例近畿)	物価高対策について、中医協メンバー構成について
舞立 昇治	参(鳥取・島根県)	公定価格について
上月 良祐	参(茨城県)	人件費アップについて、金パラ問題について

ザ・選挙情報!

投票日	選挙名	都道府県
2024年2月4日	京都市長選挙	京都府

島村大氏「お別れの会」

令和5年11月19日(日)11時より、ロイヤルホールヨコハマにおいて、参議院神奈川選挙区選出の自民党議員、島村大氏(8月30日に63歳で死去)の「お別れの会」が開かれた。

発起人代表は、菅義偉前首相、小泉進次郎自民党神奈川県支部連合会会長、鶴岡裕亮神奈川県歯科医師連盟会長。



参議院厚生労働委員長、厚労兼内閣府政務官、自民党横浜市長会会長などを務めた実績や人柄を偲んで多くの方が参列された。祭壇に花を供え、故人の冥福を祈った。

MTA系覆髄+裏層材
ネオホワイトピュア®配合

NEW

D-キャビオス®MTA

医療機器認証番号 304ADBZX00054000
歯科用覆髄材料(歯科裏層用高分子系材料)
管理医療機器



カタログPDF
1.5g入シリンジ 1本
先端チップ 15本
標準価格 6,500円



D-Cavios® MTA

「ネオホワイトピュア」は太平洋セメント株式会社の登録商標第6125963号です。

ネオ製薬工業株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel. 03-3400-3768(代) Fax. 03-3499-0613
LA2311